



## 株式会社 平山旅館

(吉崎市)



お話を伺ったのは  
女将

ひらやま まきこ  
平山 真希子さん



# つたエールけん

県内で頑張っている企業や人に  
エール(応援)を送ります!

## 源泉かけ流し温泉と 食が自慢の老舗旅館

吉崎の湯本温泉は、13の源泉がある美しい港町にあります。かつて神功皇后が応神天皇を生んだ時の産湯に使われたという古い言い伝えがあり、“子宝の湯”としても知られています。平山旅館は、その古湯を引き継ぎ昭和30年に開業しました。現在は県内外から多くの観光客が宿泊に訪れています。私は千葉から嫁いできましたが、吉崎のように食材の豊かな島は他にないと思っています。



吉崎湯本温泉の高台にある平山旅館



平飼いの鶏が産んだ卵

## 食材のほとんどを 自分たちの手で調達

宿の一番の特徴は、温泉や料理など、あらゆる面で循環型社会の実現を目指していることです。自家農園で育てた無農薬野菜や梅、卵や魚介など、食材のほとんどを自分たちの手で調達し、使い切れない魚や野菜は干物や漬物などに、梅の実や梅酒などに加工しています。食べ残しなどは乾燥して畑の肥料にするほか、馬や150羽の鶏のエサにし、無駄なく循環させています。

## SDGsの取り組みを 島の魅力につなげる

採れたての野菜や卵、自家製の干物などは朝食で提供しており、お客さまの反響も良く、宿の大きな魅力になっています。また、源泉の熱を利用する手作りの装置を使って、69度の源泉の熱で水道水を温め、皿洗いや大浴場のシャワーなどに利用しています。源泉かけ流しもセンサーで管理し、必要以上に流さないよう大切に使っています。今後は、SDGsの取り組みを島全体に広げ、新たな吉崎の魅力につなげていきたいと思っています。



朝食で提供しているサラダ

温泉も食材も一切無駄にしない、  
循環型SDGsを実践する  
おもてなし旅館